

施 策 の 成 果 及 び 執 行 実 績

1 教育委員会の開催

開催回数 定例会教育委員会 12回、臨時教育委員会 2回

審議内容

会議録に関する事	12件
人事に関する事	6件
財政に関する事	5件
教育委員会の承認に関する事	12件
委嘱に関する事	25件
条例に関する事	19件
その他	82件

【点検及び評価】

教育行政が停滞しないよう必要に応じ、臨時教育委員会を開催し、各案件の審議にあたった。また、定例会、臨時会以外にも教育委員会に関連する行事等への参加や保護者とのパイプ役となり、教育行政のスムーズな執行に寄与した。

2 奨学金貸与事業

〔貸与〕	高校生	新規	2人	480,000円
		継続	10人	2,160,000円
	大学生	新規	7人	2,340,000円
		継続	12人	4,320,000円
	貸与合計		31人	9,300,000円

平成24年度から基金運用にて事業実施

【点検及び評価】

経済的理由により修学困難な者に対し奨学基金から奨学金を貸与し、修学の機会を広め、将来社会に有用な人材を育成するための事業として実施した。このことは子育て支援策のひとつと捉えている。選考については、奨学生選考委員会で審査し貸与を行い、公平性を確保している。今後も、奨学金の制度を存続させるために、返還が滞っている者に対する納付について分割納付の相談を受けたり督促を強化するなどの対策を講じていく。

3 通学専用バス運行費助成事業 1,500,000 円

【点検及び評価】

伊勢方面に通学する浜島・志摩・大王・阿児町在住と志摩高校へ通学する志摩・大王町在住の高校生を対象に専用バスの運行を確保することで、利便性の向上と非行防止及び保護者の経済的負担の軽減が図られ、これについても子育て支援策のひとつと捉えている。

4 学校再編事業 38,143,742 円

【点検及び評価】

磯部地区の学校再編に伴い、児童・生徒の通学時の安全確保を図るため、送迎車やスクールバスの乗降場及び駐車場として使用する土地を購入した。児童・生徒の通学時の安全を確保するため必要であった。

駐車場整備事業用地購入費 38,143,742円

教育総務課

施策の成果及び執行実績

5 小学校総務管理費

(1) 小学校総務一般経費 3,637,680 円 【教育総務課】

小学校の安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	1,112,174円
聴力計検査手数料	161,028円
ピアノ調律手数料	426,200円
駐車場借上料	267,480円
学校用地借上料	1,550,210円

【点検及び評価】

学校の運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営・学校教育活動を支援した。

6 小学校施設管理費

(1) 小学校管理運営費 33,970,917 円 【教育総務課】

志摩市内の小学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各小学校の修繕）	8,719,075円
浄化槽清掃料	3,933,360円
浄化槽保守管理委託料	4,842,720円
消防設備保守点検等委託料	1,654,560円
校舎保安業務委託料	4,350,482円
環境整備業務委託料	3,573,502円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするために大切な費用である。

7 小学校教育総務振興費

(1) 小学校備品購入事業 5,950,354 円 【教育総務課】

児童の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	2,991,507円
図書購入費	2,308,847円
鵜方小学校図書購入費（基金分）	650,000円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

施策の成果及び執行実績

8 小学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 鶴方小学校屋外プール大規模改造事業 86,750,066 円 【教育総務課】

昭和50年に整備した老朽化著しい鶴方小学校プールの教育環境を改善するため、改造工事を実施した。

主な事業費は以下のとおり

施設大規模改造工事費 85,186,080円

受注者：畑中建設工業株式会社

施設大規模改造工事施工監理業務委託料 1,049,760円

受注者：向井照雄建築事務所

(2) 布施田小学校屋内運動場耐震化事業 2,862,000 円 【教育総務課】

昭和55年建築、RC造平屋建ての老朽化が著しい布施田小学校屋内運動場の教育環境を改善するため大規模改造、耐震補強工事の実施設計を実施した。

主な事業費は以下のとおり

耐震補強等改修工事实施設計業務委託料 2,862,000円

受注者：瀧鼻設計事務所

(3) 和具小学校校舎大規模改造事業 125,842,321 円 【教育総務課】

昭和39年建築、RC造2階建て校舎及び昭和56年建築3階建て校舎の老朽化が著しい和具小学校での教育環境改善するため、大規模改造、耐震補強工事を2カ年で計画し、平成26年度は南管理教室を1期工事として実施した。(平成26年度からの繰越明許事業)

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事費 124,175,160円

受注者：磯部建設工業株式会社

校舎大規模改造工事施工管理業務委託料 1,101,600円

受注者：ムラセ建築デザイン

(4) 阿児町東部地区小学校建設事業 208,795,666 円 【教育総務課】

志摩市小中学校再編基本計画をもとに低地にある施設を高台に移設し新しい統合小学校を開設することにより、児童の学校における安全の確保と円滑な教育活動の実施を図るため、整備に係る用地買収等、下記の事業を実施した。(平成26年度からの繰越明許事業)

主な事業費は以下のとおり

・地質調査業務委託料 8,094,600円

受注者：(株)中部ウェルボーリング社三重事務所

・建築・造成設計業務委託料(債務負担) 98,712,000円

【平成26年度支払分】44,442,000円

受注者：(株)久米設計 名古屋支社

・学校用地購入費 154,005,100円

契約相手方：河井金夫他12名

【平成26年度支払分】8,904,000円

(次ページに続く)

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

上記事業を実施することで、児童が安全な学校生活が送れるよう努め、また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。平成30年4月に新設予定の阿児町東部地区小学校については、保護者や自治会代表者そして小学生の意見等も取り入れ、児童が快適に学校生活を送ることができる施設にすべく努めている。

9 中学校総務管理費

(1) 中学校総務一般経費 1,260,774 円 【教育総務課】

中学校の安全な運営に必要なとなる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	448,930円
聴力計検査手数料	84,564円
ピアノ調律手数料	207,900円
駐車場借上料	222,000円
敷地借上料	123,000円

【点検及び評価】

学校運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営を支援した。

10 中学校施設管理費

(1) 中学校管理運営費 19,292,616 円 【教育総務課】

志摩市内の中学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各中学校の修繕）	7,380,640円
浄化槽清掃料	2,548,260円
浄化槽保守管理委託料	1,076,760円
消防設備保守点検等委託料	1,030,320円
エレベーター保守点検委託料	1,616,760円
校舎保安業務委託料	1,817,640円
環境整備業務委託料	1,242,006円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

施策の成果及び執行実績

11 中学校教育総務振興費

(1) 中学校備品購入事業 4,005,097 円 【教育総務課】

生徒の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	2,617,194円
図書購入費	1,387,903円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

12 中学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 文岡中学校校舎改修事業 2,924,250 円 【教育総務課】

昭和56年建築の老朽化の激しいRC造3階建て5,438㎡の文岡中学校校舎の教育環境を改善するため、大規模改造工事を2カ年（26年度、27年度）で計画した。平成26年度は、北特別教室等を1期工事として実施した。

（繰越明許費）

校舎大規模改造工事費	111,165,480円
受注者：株式会社坂下工務店	
校舎大規模改造工事施工管理業務委託料	1,220,400円
受注者：一級建築士事務所 箕浦設計	

【点検及び評価】

上記事業の実施により、生徒の安全な学校生活が送れるよう努力した。また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し、安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。今後に残る中学校について計画的に実施していく必要がある。

13 幼稚園総務管理費

(1) 幼稚園総務一般経費 603,216 円 【教育総務課】

幼稚園の安全な運営に必要な経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

聴力計検査手数料	26,892円
ピアノ調律手数料	96,120円
駐車場借上料	360,000円

【点検及び評価】

幼稚園運営のために必要な経費を支出することによって、スムーズな幼稚園運営を支援した。

施策の成果及び執行実績

14 幼稚園施設管理費

(1) 幼稚園管理運営費 4,232,609 円 【教育総務課】

志摩市内の幼稚園施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各幼稚園の修繕）	1,635,317円
浄化槽清掃料	736,128円
浄化槽保守管理委託料	721,440円
消防設備保守点検等委託料	120,960円
園舎保安業務委託料	570,240円
体育用具等保守点検委託料	135,648円
環境整備業務委託料	158,420円

【点検及び評価】

幼稚園の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

15 幼稚園教育総務振興費

(1) 幼稚園備品購入事業 581,054 円 【教育総務課】

園児の保育活動を充実させるため保育備品やその他図書等を購入し、健全で有効な幼稚園運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	178,179円
図書購入費	402,875円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、幼稚園の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの幼稚園備品や図書等の充実に努めた。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

1 事務局学事庶務費

- (1) スクールバス運行管理事業 3,705,920 円 【学校人権教育課】

浜島小学校の遠距離通学者に対してスクールバスの運行を委託

- (2) 学校保健事業 2,027,247 円 【学校人権教育課】

学校保健安全法の規定により義務付けられている教職員健康診断や翌年度就学予定児童（333人）を対象とした健康診断を実施

2 事務局指導費

- (1) 職場体験事業 600,000 円 【学校人権教育課】

自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を実施することで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

事業名	事業費	学校名等	備考
職場体験事業	600,000円	中学校2年生対象 全7校15学級	市単

- (2) 外国語指導助手事業 17,210,880 円 【学校人権教育課】

小学校230回、中学校554回

※延派遣回数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

業務名	契約金額	契約業者	備考
外国人英語指導業務	17,210,880円	(株)インタラック名古屋支店	4人

【点検及び評価】

小学校におけるALTの活用については、小学校5・6年で週1コマ「外国語活動」を実施しており、小学校の英語教育の重要性が高まる中、各中学校と日程調整を行い、できる限り小学校への派遣を確保することに努めた。

各学校へのALTの派遣は、グローバル化が急速に進展する中、英語のコミュニケーション能力の向上は欠かせない重要な施策と考える。このことがひいてはグローバル人材の育成につながる。

- (3) 授業研究指定校モデル事業 500,000 円 【学校人権教育課】

志摩市の子どもの「学び」を実現するために、その第一歩として「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させた。

事業名	事業費	学校名等	備考
授業研究指定校事業	500,000円	片田小 布施田小 成基小 浜島小 神明小 安乗小 浜島中 大王中	市単

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

(4) 幼稚園・小学校・中学校の指導及び助言

指導主事活動状況（年間の要請回数合計であって、延べ人数ではない）

（小学校・・・17校）

番号	学校名	回数
1	浜島小学校	7
2	波切小学校	7
3	船越小学校	3
4	片田小学校	18
5	布施田小学校	17
6	和具小学校	12
7	越賀小学校	10
8	鵜方小学校	2
9	神明小学校	10
10	立神小学校	7
11	甲賀小学校	8
12	志島小学校	3
13	国府小学校	1
14	安乗小学校	19
15	磯部小学校	21
16	的矢小学校	5
17	成基小学校	6
		156

（中学校・・・7校）

番号	学校名	回数
1	浜島中学校	5
2	大王中学校	4
3	志摩中学校	6
4	文岡中学校	5
5	東海中学校	6
6	安乗中学校	4
7	磯部中学校	7
	計	37

（幼稚園・・・7園）

番号	園名	回数
1	浜島幼稚園	5
2	大王幼稚園	4
3	志摩幼稚園	5
4	和具幼稚園	4
5	鵜方幼稚園	6
6	国府幼稚園	9
7	磯部幼稚園	4
	計	37

【点検及び評価】

幼稚園7園、小学校17校、中学校7校において、合計230回（それぞれ37回、156回、37回）の学校訪問を通して、授業づくりや指導方法等に関する指導及び助言を行った。訪問は指導主事2人で行うことを基本にしながら、学校の研究内容に対して柔軟に対応した。

平成25年度の各学校・園への要請訪問の合計は270回であった。平成26年度、指導主事による要請訪問の回数が減った要因として、授業研究指定校事業の第1期推進期間の最終年度であり研究発表校が例年より若干少なく、あわせて小学校2校が閉校及び休校となったことが影響していると考えられる。

授業研究指定校においては、重点的に訪問を行い、管理職や研究推進担当と研究の方向を協議し、授業研究の際には指導助言を行い、学校の研究推進をきめ細かく支援してきた。その結果、授業研究指定校では教師の授業力が向上し、このことが児童生徒の学力向上につながっている。

また、既に研究指定期間が終了した学校がいくつかあるが、それら学校においても、授業研究が継続し行われている。各学校の校内授業研究の際には指導主事の要請があり、授業について指導助言を行った。

また、近年、特別支援教育についての要請も増えてきている。児童福祉関係課担当とともに幼稚園・保育所、小学校、中学校等を定期的に訪問し、幼児児童生徒の実態やニーズを把握し、支援計画の具体化を図るとともにその進捗状況を確認している。各学校・園においては、以前より、継続して人権教育にも取り組んでいる。人権教育担当指導主事を中心に、人権教育に係わる授業研究、および人権教育年間カリキュラムの作成など、各学校・園の人権教育の推進のための指導助言も行っている。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

- (5) 教育特区管理経費 127,000 円 【学校人権教育課】

構造改革特別区域法により認可した学校設置会社の設置する学校の経営診断及び私立学校審議会に要した経費。

- (6) 学べる里海推進事業 535,000 円 【学校人権教育課】

里海について考える授業を行った。

(波切小学校は、シーカヤック体験)

(船越小学校は、地区女性部・老人クラブと共に河川・海岸美化活動)

(片田小学校は、郡上市立牛道小学校と磯体験を通して交流学习)

(布施田小学校は、海岸美化活動及びエビ網漁業体験)

(和具小学校は、エビ網漁業体験及び水産高校の生徒と干物作り)

(立神小学校は、アオサ養殖ならびに真珠養殖の作業体験)

(的矢小学校は、的矢カキの養殖体験)

(大王中学校は、絵描きの街・大王として「海」をモチーフにした写生大会)

- (7) 夢の教室開催事業 300,000 円 【学校人権教育課】

子どもが社会性を育む場である外遊びが減ったこともあり、体力低下や運動不足を危惧する声の高まりや、いじめや不登校、自殺願望といった問題を食い止めることが求められていることから、「JFAこころのプロジェクト」を活用し、子どもの心身の健全な成長を促進した。

- (8) 教育支援センター事業 1,504,497 円 【学校人権教育課】

様々な事情で学校生活に適應できない児童・生徒に対し、個々の実態に合わせた支援を行い、学校適應や学校復帰及び自立を目指した指導を行った。

- (9) 早期からの一貫した教育支援体制整備事業 . . . 158,949 円 【学校人権教育課】

市内の全幼稚園・小中学校を対象としてパーソナルカルテの普及と活用を進め、特別支援教育に関する研修の実施、発達障害を含む障がいのある子どもの乳幼児期から成人期に至るまでの一貫した支援にかかる取組みを行った。

事業名	事業費	学校名等	備考
早期からの一貫した教育支援体制整備事業	150,000円	市内全幼稚園、小中学校	県委託 100%

- (10) 学力向上のための読書活動推進事業 80,000 円 【学校人権教育課】

調べ学習等の学校図書館を活用した授業を推進することや、子どもたちの「文章を読んで内容を理解する力」や「内容をまとめて書く力」の向上を図った。

事業名	事業費	学校名等	備考
学力向上のための読書活動推進事業	80,000円	甲賀小、志摩中	県委託 100%

【点検及び評価】

一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するために、以下の6小学校及び3中学校で指定研究を実施した。

＜授業研究指定校2年次・・・小学校3＞

成基小学校では、「一人ひとりがすすんで学び、互いの思いを認め合う授業」という研究主題を設定し、子どもが会う「もの・こと・ひと」を大切にしながら、体験活動や出会い学習を中心に取組んだ。10月31日には、県のへき地複式教育研究会の研究指定も兼ねた研究発表会を実施し、研究の成果を発表した。

布施田小学校では、「互いに認め合い、高め合える集団をめざして」という研究主題を設定し、算数科を中心として、児童の表現力を高め、考えを深めることに取組んだ。授業の中で「聞く」「話す」「書く」活動を多く設定し、学習の中で積極的に子どもたちの意見や発言を引き出す授業の在り方を研究した。11月14日には、研究の成果を発表した。

片田小学校では、「確かな学力を身につけ、主体的に活動に取り組むたくましい児童の育成」という研究主題を設定し、国語科の物語文をとおして、言語活動を充実させるための指導方法の工夫に取組んだ。児童一人一人に基礎基本の技能を確実に習得させ、思いや考えを伝え合う授業を展開することで、確かな学力を育むことを実践した。11月28日には、研究の成果を発表した。

＜授業研究指定校1年次・・・小学校3、中学校2＞

安乗小学校では、「自分の思いや考えをもち、伝え合う子どもの育成」という研究主題を設定し、国語科における説明文をとおして、PISA型読解力の育成に取組んだ。授業改善では、ICTを効果的に活用し、児童に「わかる喜び、学ぶ楽しさ」を感じさせることを大切に授業実践を行った。

神明小学校では、「確かな学力を身につけ、仲間とともに伸びゆく子どもをめざして」という研究主題を設定し、国語科における説明文をとおして、表現力を育てる授業づくりに取組んだ。小集団を使って自分の思いや考えを伝え合うことで、子どもたちに積極的に表現する力が身につくにつがある。

浜島小学校では、「自ら考え、話し合える授業づくりをめざして」という研究主題を設定し、算数科をとおして、「聞く・話す・話し合う」力をつけることに取組んだ。全学年が基本話形をふまえ、「聞く」姿勢を重視することで、授業に意欲的に取り組む子どもたちの姿が見られた。

浜島中学校では、「思考力・判断力・表現力を伸ばしていく授業づくり」という研究主題を設定し、生徒自身が考え、悩み、試行錯誤しながら学習活動を進めていくことを大切に授業づくりに取組んだ。このような授業改善の取組をとおして、表現力を中心に高まりのある生徒の姿が見られた。

大王中学校では、「生徒の個性が輝くための仲間づくりと生きる力を育む授業づくり」という研究主題を設定し、自分の思いや考えを表現できる力や自学自習の力を育む授業づくりに取組んだ。具体的には、「教えて考えさせる授業」を導入し、「教える場面」と教えたことをもとに「考えさせる場面」を設定し、表現力や自学自習の力の育成を図っている。

授業研究として、より深い教材の解釈や研究、できる・分かりやすい授業を作るための教材・教具の工夫、互いを高めあう授業づくり、グループ学習などの授業形態の工夫、授業展開の工夫など様々な取組が進み、教師の授業力が向上しつつある。

また、それぞれの学校において、反復指導・補充学習を実施したり、家庭学習の見直しを図ることで、児童生徒の基礎的・基本的な知識や技能の定着については、一定の成果を得ることができた。課題である「基礎的・基本的な知識・技能を活用する力」も少しずつではあるが、改善に向かっている。

今後も一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するため、意欲を引き出すための授業改善を推進するとともに、家庭との連携による学習習慣の定着を図るなど取組を推進していきたい。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

3 情報システム管理費

(1) 情報システム管理一般経費 12,437,091 円 【学校人権教育課】

- ・教育情報システムの保守委託料及び通信回線の利用料
- ・小中学校PC教室用プリンターの購入

業務名	契約金額	契約業者
光ケーブル利用料	155,520円	株式会社 アイティービー
	2,602,044円	松阪ケーブルテレビステーション株式会社
地域イントラ基盤設備整備事業システム保守委託	6,745,383円	株式会社 松阪電子計算センター

業務名	契約金額	契約業者
学校情報化基盤整備事業システム保守業務委託	1,956,960円	株式会社 松阪電子計算センター
小中学校PC教室用プリンター購入	977,184円	株式会社 アタケ志摩営業所

(2) 教育情報システム更改事業 34,020,000 円 【学校人権教育課】

校務用情報システム機器が耐用年数を迎えたため、サーバー等機器の入れ替えを行った。

業務名	契約金額	契約業者
校務用情報システム更新業務委託	34,020,000円	株式会社 松阪電子計算センター

【点検及び評価】

各小中学校におけるパソコン教室や職員用のパソコン機器が正常に稼働するよう、保守業者による適切なメンテナンスを行うことができ、効果的に教育情報システムを活用した業務の遂行が出来た。

4 小学校学事庶務管理費

(1) 小学校課外活動支援事業 3,143,107 円 【学校人権教育課】

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や、児童が各種コンクールや大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、児童の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛錬や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実に寄与することに寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、修学旅行等引率費補助金、選手派遣補助金に係る事業については全17校にて実施、また里海関連事業として波切・船越・片田・布施田・和具・立神・的矢小学校にて事業を実施した。学校教育活動を豊かにするため必要不可欠な事業である。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

5 小学校保健費

- (1) 校医等報酬経費 10,940,640 円 【学校人権教育課】
 学校内科医（14人）・眼科医（4人）・歯科医（14人）・薬剤師（12人）に対する報酬
- (2) 小学校健康診断等関係経費 1,695,321 円 【学校人権教育課】
 尿検査（全員）、ぎょう虫卵検査（小1～3）、心臓検診（小1）、
 結核検診（転校生）、耳鼻科検診（小1・4）の検診手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の校医による各種健康診断を市内全小学校において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された児童に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、児童の健康の保持増進を図った。
 H26年度 対象児童数（H26.5.1時） 2,237人
 また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。
 H26年度 検査対象施設数 小学校17校
 法令で決められていることから欠かすことのできない事業である。

6 小学校介助員等配置事業費

- (1) 小学校介助員等配置事業 65,438,878 円 【学校人権教育課】
 特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。
 人数（延） 41人 、 賃金 65,241,701円、 旅費 197,177円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。
 なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。近年では県内のどの市町でも同様の事業がおこなわれるようになってきている。

7 小学校通学対策事業費

- (1) 小学校通学安全対策助成事業 1,152,781 円 【学校人権教育課】
 自転車通学を許可されている児童が自転車を購入した際の購入金額の1/2（上限10,000円）補助並びにヘルメットを購入した際の購入金額の1/2（上限1,000円）補助と、磯部小学校への通学に公共交通機関を利用する児童の通学定期券代金の1/2補助、和具・波切小学校への通学に公共交通機関を利用する児童の通学定期券代の金額、的矢小学校へ通う渡鹿野・三ヶ所地区の児童の冬期及び雨天時の仕立て船代金

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

補助対象となる小学校に通学する遠距離の児童の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。児童の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象児童数

自転車購入補助・・・20人（磯部小学校18人、鵜方小学校2人）
ヘルメット購入補助・・・37人（磯部小学校16人、鵜方小学校11人）
通学定期券購入補助・・・20人（和具小学校12人、波切小学校8人）
仕立て船代金補助・・・5人（的矢小学校）

8 小学校学事庶務振興費

(1) 小学校就学援助経費・・・・・・・・・・・・・・ 23,926,948 円 【学校人権教育課】

小学校に在学する児童で経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる児童に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。また、子育て支援の大切な事業と考える。

9 小学校災害補償費

(1) 小学校災害共済事業・・・・・・・・・・・・・・ 3,584,314 円 【学校人権教育課】

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（児童全員分）と災害給付金

・収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 1,536,764 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（児童全員分）については市が全額負担している。

児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

10 中学校学事庶務管理費

- (1) 中学校課外活動支援事業 13,811,598 円 【学校人権教育課】
総合学習や他校との交流学习等を実施するために要する経費、生徒が各種コンクールや部活動の大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、生徒の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛練や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実に寄与することに寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、選手派遣補助金、修学旅行等引率費補助金について全7校に補助を実施した。学校教育活動を豊かなものにするため必要不可欠な事業である。

11 中学校保健費

- (1) 校医等報酬経費 4,936,440 円 【学校人権教育課】
学校内科医（8人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（6人）に対する報酬
- (2) 中学校健康診断等関係経費 1,250,925 円 【学校人権教育課】
尿検査（全員）、心臓検診（中1）、耳鼻科検診（中1）の検診手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の校医による各種健康診断を市内全中学校において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された生徒に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、生徒の健康の保持増進を図った。

H26年度 対象生徒数（H26.5.1時） 1,367人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H26年度 検査対象施設数 中学校7校

法令で決められていることから欠かすことができない事業である。

12 中学校介助員等配置事業費

- (1) 中学校介助員等配置事業 27,310,218 円 【学校人権教育課】
特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 16人 、 賃金 27,028,848円、 旅費 281,370円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。近年では県内のどの市町でも同様の事業がおこなわれるようになってきている。

施策の成果及び執行実績

13 中学校通学対策事業費

- (1) 中学校通学安全対策助成事業 7,155,726 円 【学校人権教育課】

自転車通学を許可されている生徒が自転車を購入した際の購入金額の1/2（学校再編により閉校となる校区から通学する生徒については上限15,000円、その他は上限10,000円）補助、ヘルメットを購入した際の購入金額の1/2（上限1,000円）補助、文岡中学校へ通う渡鹿野地区の生徒の通学定期券代金及び定期船代金の全額補助、志摩中学校へ通う片田・布施田・間崎・越賀・御座地区の生徒の通学定期券代金の全額補助、大王中学校へ通う船越地区の生徒の通学定期券代金の全額補助並びに磯部中学校への通学に公共交通機関を利用する生徒の通学定期券代金の1/2補助

【点検及び評価】

補助対象となる中学校に通学する遠距離の生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。生徒の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象生徒数

自転車購入補助 14人（大王13、磯部1）
ヘルメット購入補助 49人（浜島15、大王5、東海15、磯部14）
通学定期券購入補助 173人（大王22、和具141、文岡1、磯部9）

14 中学校学事庶務振興費

- (1) 中学校就学援助経費 24,842,815 円 【学校人権教育課】

中学校に在学する生徒で経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる生徒に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。また子育て支援の大切な事業と考える。

15 中学校災害補償費

- (1) 中学校災害共済事業 5,562,294 円 【学校人権教育課】

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（生徒全員分）と災害給付金

・収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 4,282,939 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（生徒全員分）については市が全額負担している。

児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

16 幼稚園保健費

- (1) 園医等報酬経費 2,858,160 円 【学校人権教育課】
 学校内科医（7人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（6人）に対する報酬
- (2) 幼稚園健康診断等関係経費 154,725 円 【学校人権教育課】
 尿検査、ぎょう虫卵検査の手数料

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の園医による各種健康診断を市内全幼稚園において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された園児に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、園児の健康の保持増進を図った。

H25年度 対象園児数（H26.5.1時） 369人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H26年度 検査対象施設数 幼稚園7園

法令で決められていることから欠かすことができない事業である。

17 幼稚園介助員等配置事業費

- (1) 幼稚園介助員等配置事業 25,907,850 円 【学校人権教育課】
 特別支援を要する幼児を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数（延） 15人 、 賃金 25,905,070円、 旅費 2,780円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。また子育て支援の大切な事業と考える。

18 幼稚園災害補償費

- (1) 幼稚園災害共済事業 271,986 円 【学校人権教育課】
 日本スポーツ振興センターへの共済掛金（園児全員分）と災害給付金
 ・収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 163,131 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用、また死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（園児全員分）については市が全額負担している。

児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

学校人権教育課

施策の成果及び執行実績

19 人権教育振興事業費

(1) 人権感覚あふれる学校づくり支援事業・・・ 750,000 円 【学校人権教育課】

市内各中学校区を単位として、代表校へ児童・生徒のための人権・同和教育に繋がる実践及び研修活動を委託した。

委託金 80,000円×2中学校区＝160,000円（浜島・安乗中学校区）

110,000円×3中学校区＝330,000円（大王・東海・磯部中学校区）

130,000円×2中学校区＝260,000円（志摩・文岡中学校区）

(2) しまふれあい人権フォーラム事業・・・ 578,880 円 【学校人権教育課】

市民が、学校で人権学習を受けている児童・生徒と心の交流を図ることにより、自分を見つめ直し、互いの人権感覚を高め、人権問題を市民一人一人のものとし、その解決に向け主体的に行動できる人権意識の高揚をめざしフォーラムを実施した。

参加者：768人 バス借上料 578,880円

(3) 子ども支援ネットワーク構築事業・・・ 809,548 円 【学校人権教育課】

いじめなどの要因により、安心して学び生活することを阻害され学習意欲を奪われたり、教育的に不利な環境のもとにある子どもたちの学びを保証するため、子どもが生活基盤を置く中学校区をベースとして「子ども支援ネットワーク委員会」を構築し、地域連携を主題とした人権教育事業を行った。

講師謝礼 235,000円 費用弁償 28,940円 消耗品費 330,509円

印刷製本費 30,000円 燃料費 12,417円 使用料及び賃借料 172,682円

【点検及び評価】

指導者育成とスキルアップのため、今後とも学校・幼稚園等関係機関と連携し、職員等への研修の場を積極的に提供していく必要がある。

人権感覚あふれる学校づくり支援事業では、7中学校区に人権・同和教育の実践及び研修活動の委託を行った。志摩市合併後市単独で継続している事業であり、今後も各校区のニーズや時代の要請に応えるべく、柔軟に事業展開できるよう工夫をこらしていきたい。

人権フォーラムにおいては、各学校での人権教育の取り組みを代表者となる児童生徒が人権について自分の思いや意見を発表し、交流することを通じ、互いの人権感覚を養い高め合うことができた。また、市民が子どもたちの考えや思いを知り、さまざまな人権問題の解決に向けて自分ができることを考える機会となった。今後とも教育的効果が期待できるよう内容の充実に努めていく。

子ども支援ネットワーク構築事業においては、三重県教育委員会委託事業を活用し、東海中学校区で学校・家庭・地域が連携した教育環境づくりを主題として「子ども支援ネットワーク」を構築し、教育的不利な環境にある子どもたちの自尊感情や学習意欲の向上を図った。今後も多様な主体が連携した人権教育の推進が期待される。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

1 志摩市誕生10周年記念事業（総務費）

(1) 芸術文化振興事業 832,902 円 【生涯学習スポーツ課】

- ・ 事業名 : オペラティックコンサート
- ・ 場 所 : 阿児アリーナ ベイホール
- ・ 開催日 : 平成26年7月20日
- ・ 日 時 : 開場 13時30分～ 開演 14時～
- ・ 入場料 : 一般 1,000円 高校生以下 500円
- ・ 来場者 : 388人

【点検及び評価】

阿児アリーナを会場として、志摩市出身の指揮者兼ピアニストである飯坂純さんを迎えて、オペラとピアノ演奏を織り交ぜたコンサートを開催した。市民が優れた芸術・文化に触れる機会となり、生涯学習の振興を図ることができた。

(2) 文化交流事業 291,522 円 【生涯学習スポーツ課】

- ・ 事業名 : 安乗の人形芝居と高雄歌舞伎の合同公演
- ・ 場 所 : 阿児アリーナ ベイホール
- ・ 開催日 : 平成26年11月30日
- ・ 日 時 : 開場 12時～ 開演 12時30分～
- ・ 入場料 : 無料
- ・ 来場者 : 431人

【点検及び評価】

伝統文化交流事業の一環として、安乗の人形芝居と郡上市の高雄歌舞伎の合同公演を開催した。市民が歴史や文化に触れることで、市民の郷土愛や地域に残る伝統文化の保存・継承に対する意識の醸成を図ることができた。

(3) 資料集発行事業 429,840 円 【生涯学習スポーツ課】

- ・ 事業名 : 資料集「志摩のあゆみ」発行
- ・ 部 数 : 1,000部
- ・ 金 額 : 500円

【点検及び評価】

旧石器時代から平成16年の合併までの志摩のあゆみをイラストを交えたダイジェスト版にまとめた「志摩のあゆみ」を1,000部発行し、希望者に1冊500円で販売した。市の歴史を知り、学ぶことで郷土を愛する心を育てることにつながった。

(4) 青少年育成事業補助金 128,668 円 【生涯学習スポーツ課】

- ・ 主 催 : 志摩青年会議所
- ・ 目 的 : 同世代の子どもたちと生活を共にすることで志摩の歴史や文化を認識し、相互理解を深めることで郷土愛を育む。

(次ページにつづく)

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

- ・ 内 容 : 志摩市の祭りについての学習会やナマコの稚魚の放流など
- ・ 開催日 : 平成26年10月26日
- ・ 会 場 : 間崎島
- ・ 参加人数: 子ども及び保護者89人

【点検及び評価】

志摩市5町の祭りについての学習会やナマコの稚魚の放流を行うことで、参加者には郷土愛を育むことにつながった。

2 社会教育総務費

- (1) 社会教育一般経費 526,844 円 【生涯学習スポーツ課】
社会教育の振興・発展にかかる一般事務経費

- (2) 社会教育委員経費 88,600 円 【生涯学習スポーツ課】
社会教育法第15条第1項の規定に基づいて社会教育委員を設置し、会議を2回開催した。
社会教育委員: 9人 任期: 2年
社会教育委員報酬 82,500 円

- (3) 社会教育関係補助金 583,000 円 【生涯学習スポーツ課】
○社会教育団体等の育成支援

補助団体	補助金額 (円)
志摩市女性の会連合会	583,000

- (4) 成人式開催事業 656,280 円 【生涯学習スポーツ課】
20歳になった青年の前途を市民全員で祝福するとともに、新成人が豊かな感性や創造性を持ち、まちづくりの重要な担い手として、さらには、将来の社会を支える一員として自らも自立し、そのための責任を自覚する機会を提供する場として、成人式を開催した。
○平成27年志摩市成人式
・ 平成27年1月11日 阿児アリーナ (式典会場: オーシャンホール)
・ 出席者: 新成人532人 (男275人、女257人)
報償費 457,330 円 (成人式典記念写真)

- (5) 志摩陶芸館整備事業 (繰越明許分) 3,421,000 円 【生涯学習スポーツ課】
・ 建築確認申請等手数料 17,000 円
・ 設計監理業務委託料 110,000 円
・ 陶芸館整備工事費 (株式会社山下組) 3,294,000 円

- (6) 志摩陶芸館整備事業 593,680 円 【生涯学習スポーツ課】
・ 陶芸館給排水設備工事費 (伊藤管工) 593,680 円

(次ページにつづく)

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

成人式について、新成人4人で成人式実行委員会が組織され、成人式典全般の企画・運営に携わった。式典の内容についてマーチングA G Oによる演奏や小学校・中学校時代の恩師の先生方に舞台に登場していただくこと等を企画した。

志摩文化会館敷地内に志摩陶芸館を整備し、地域の陶芸サークル等市民が使用できる施設となった。

3 青少年育成事業費

- (1) 青少年補導センター事業 538,321 円 【生涯学習スポーツ課】

青少年の健全な育成保護を図るため補導員を委嘱し、問題青少年及び青少年非行集団の早期発見や情報交換を行い、青少年の非行防止に必要な業務を行った。

青少年補導員報酬 493,500 円

○青少年補導センター補導員：36人 任期：2年

○街頭補導、合同補導の実施（通年）

	実施回数（回）	従事した補導員数（人）
街頭補導	125	137
合同補導	4	16

○情報・意見交換等のための全体会議を2回開催した。

- (2) 青少年育成事業 1,184,400 円 【生涯学習スポーツ課】

青少年問題の重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民から理解と協力を得て次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的に、実施を地域の団体に委託した。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
青少年育成事業	志摩市青少年育成市民会議	1,184,400

- (3) 青少年育成関係補助金 454,751 円 【生涯学習スポーツ課】

○青少年育成団体の育成支援

補助団体	補助金額（円）
志摩市青少年育成市民会議	454,751

【点検及び評価】

青少年育成市民会議の活動を支援することで、次代を担う子どもたちの健やかな成長に寄与した。

4 しまこどもセンター事業費

- (1) しまこどもセンター事業 331,176 円 【生涯学習スポーツ課】

○しまこどもセンター活動推進協議会の開催

地域の教育力を活性化し、子どもたちに奉仕活動や体験活動の場や機会を提供するため、各地域の活動者や有識者を委員として委嘱し、会議を2回開催した。

しまこどもセンター活動推進協議会委員：23人 委員報償費 54,000 円

（次ページにつづく）

施策の成果及び執行実績

○しまこどもセンター事業の実施

学校・関係機関・各種団体が連携・協力を行い、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保するとともに、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。

報償費 117,000 円（講師謝礼）

・本部事業

平成26年8月26日 ジュニアリーダー研修（ともやま公園） 対象者16人参加

平成26年8月3日 「生きものの名前を調べてみよう」（阿児アリーナ）47人参加

・大王地区事業（サンサンキッズ大王）

書道教室を3回開催 延べ36人参加

・志摩地区事業（志摩たちごクラブ）

書道教室を12回開催 延べ230人参加

平成26年12月13日 しめなわ作り教室 21人参加

・阿児地区事業（ドキ・ワク阿ミ〜児）

平成26年12月6日 いも煮会（障がい者支援施設「はばたき」） 34人参加

【点検及び評価】

しまこどもセンターとして、体験活動や地域住民との交流活動を実施することにより、青少年の健全育成の一助になったと考える。また、しまこどもセンター活動推進協議会は、地域や各種団体、企業からも委員が選出されており、会議では情報交換等を行い有意義なものとなった。

文化振興

1 文化財保存事業費

(1) 文化財保存一般経費 903,766 円 【生涯学習スポーツ課】

・文化財調査委員会委員：12人

任期：2年

・指定文化財の保護

市指定天然記念物「玉泉庵のナギ」（磯部町迫間地内）の現状確認を行い、枯枝の剪定、マシン油散布による害虫の駆除作業を行った。

また、市指定天然記念物「トキワガキ群生」（阿児町神明地内）の現状確認を行い、文化財周知、保護のため看板設置を行った。

・埋蔵文化財包蔵地確認業務 865件

・埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の発掘届出書及び通知書提出における文化財調査等

発掘調査 1件

工事立会 5件

【点検及び評価】

文化財調査委員会の開催、指定文化財や埋蔵文化財の保護、文化財防火査察等を行い、文化財の保護・啓発に努めた。

また、志摩市ホームページに「志摩市の指定文化財一覧」を掲載し、文化財保護の周知を行った。

（次ページにつづく）

施策の成果及び執行実績

(2) 文化財保存関係補助金 1,040,000 円 【生涯学習スポーツ課】

○文化財の保存・伝承に対する助成

事業名	補助団体	補助金額(円)
わらじ祭り保存事業	大王自治会	300,000
大般若経保存事業(片田)	片田自治会	30,000
大般若経保存事業(立神)	立神自治会	30,000
安乗人形保存伝承奨励事業	安乗人形芝居保存会	200,000
ささら踊り保存事業	立神鯨踊保存会	120,000

「安乗の人形芝居」の次世代への伝承や後継者の育成を目的に、立神小学校・神明小学校・鶴方小学校・国府小学校・安乗小学校・成基小学校・東海中学校の7校で歴史文化体験教室を実施した。

○郷土の伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援

事業名	補助団体	補助金額(円)
安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業	安乗中学校	360,000

【点検及び評価】

文化財保存団体への助成については、保存・伝承に有効活用されている。ささら踊り保存事業は5年に一度の開催年となり補助金を支出した。

郷土の伝統芸能保存・継承と後継者育成への支援については、安乗人形芝居保存会が伝統文化の体験教室を継続して実施しており、今年度は市内の7校の小中学校で実施し、人形芝居の伝承に努めることができた。

(3) 遺跡発掘調査等事業 3,182,554 円 【生涯学習スポーツ課】

○志島古墳群第4号墳(塚穴古墳)の発掘調査

○志島古墳群第4号墳(塚穴古墳)の出土遺物保存処理

○遺跡詳細分布調査

○活かそう守ろうみえの文化財事業 市内遺跡発掘調査等 保存・活用事業

【点検及び評価】

平成24年度から3か年にわたり国庫補助事業として発掘調査を実施しており、本年度は墳丘の断割調査等を実施した。また、今後の埋蔵文化財保護の基礎資料の作成のため、今年度から5か年にわたり遺跡詳細分布調査を実施する予定である。

活かそう守ろうみえの文化財事業として、塚穴古墳の現地説明会を実施し、111人の参加を得た。また塚穴古墳のパンフレットを作成し、地元住民や各種施設に配布することにより、埋蔵文化財に対する意識向上が図れた。

2 文化振興事業費

(1) 文化振興関係補助金 1,450,000 円 【生涯学習スポーツ課】

○文化振興団体の育成

志摩市文化協会に補助金を交付した。(会員数 1,299人)

平成26年度は、11月17日に志摩市において日進市との交流事業を実施し、11月28、29日には、郡上市を訪問し交流事業を実施した。

(次ページにつづく)

施策の成果及び執行実績

○スポーツ・文化全国大会等出場激励金

国際大会出場者1人、全国大会出場者7人に対し激励金を支出 85,000円

【点検及び評価】

志摩市文化協会に補助金を交付することにより、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援するとともに、地域文化の創造と振興を図ることができた。

また、平成25年度より全国大会出場激励金支給要綱が改正され、文化部門も対象となり、「科学の甲子園全国大会」で優勝し国際大会に出場した生徒1人、囲碁・情報処理等の部門で全国大会に出場した生徒7人に対し激励金を支出し、文化活動の推進を図った。

文化会館

1 志摩文化会館施設費

(1) 志摩文化会館管理運営費 15,644,356 円 【生涯学習スポーツ課】

2 阿児アリーナ施設費

(1) 阿児アリーナ管理運営費 32,488,978 円 【生涯学習スポーツ課】

(2) 自主文化事業 537,754 円 【生涯学習スポーツ課】

3 磯部生涯学習センター施設費

(1) 磯部生涯学習センター管理運営費 . . . 23,146,584 円 【生涯学習スポーツ課】

○利用状況

(単位:件、人)

施設名	件数	市外	営利	減免	利用者数
志摩文化会館	1,130	56	52	570	29,537
阿児アリーナ	1,464	180	81	608	80,508
磯部生涯学習センター	916	48	8	526	21,121

○使用料

(単位:円)

施設名	使用料	減免金額
志摩文化会館	1,688,655	1,628,130
阿児アリーナ	5,223,899	3,431,890
磯部生涯学習センター	1,009,460	1,249,140

○自主文化事業

- 皇學館高等学校吹奏楽部コンサート

開催日:5月24日 場所:阿児アリーナ ベイホール 参加者:444人

- 白子高等学校吹奏楽部コンサート

開催日:10月13日 場所:阿児アリーナ ベイホール

(台風接近に伴い、当日中止を決定)

【点検及び評価】

志摩文化会館・磯部生涯学習センターについては、地域の教育や文化の発展を図るため、地域住民の生涯学習を中心とした活動拠点となるように努めた。

阿児アリーナについては、市の中核的な生涯学習施設として、多様な市民のニーズに対応した様々な事業を行い、地域の教育や文化の発展及び向上を図った。今後も自主事業の導入により、市民に質の高い生の文化の提供と収入増を図っていきたい。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

1 公民館費

(1) 公民館管理運営費 22,051,012 円 【生涯学習スポーツ課】

○施設利用状況

	施設名	使用件数（件）	使用人数（人）
公民館	浜島公民館	514	7,644
	大王公民館	836	14,263
	鵜方公民館	1,206	16,191
陶芸館	浜島あけぼの館	57	623
	志摩陶芸館	14	210
	阿児陶芸館	126	874

○収入の状況

	施設名	金額（円）
公民館使用料	浜島公民館	201,250
	大王公民館	480,600
	鵜方公民館	588,100
	計	1,269,950

陶芸館使用料	浜島あけぼの館	38,700
	志摩陶芸館	6,800
	阿児陶芸館	142,337
	計	187,837

○公民館、陶芸館の管理運営

・施設修繕料	1,566,972 円	
浜島公民館 浄化槽ばっ気ブロワー取替業務等		848,880 円
浜島あけぼの館 電気炉修繕		440,640 円
大王公民館 放流ポンプ修繕等		250,992 円
鵜方公民館 水銀灯ランプ取り替え		10,800 円
鵜方公民館 トイレ修理		15,660 円
・備品修繕料	93,068 円	
浜島公民館 公用車バッテリー交換等		7,560 円
大王公民館 公用車車検代等		85,508 円

(次ページにつづく)

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

・委託料 1,379,864 円

契約名	契約相手方	契約金額（円）
浄化槽保守管理委託料 (浜島・大王・鵜方公民館・浜島あけぼの館)	志摩環境事業協業組合	319,680
電気工作物保安管理委託料 (浜島・大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	225,504
防火対象物定期点検委託料 (浜島・大王・鵜方公民館)	日本ファシリオ (株)	83,600
火災報知設備等保守管理委託料 (浜島・大王・鵜方公民館・阿児陶芸館・浜島あけぼの館)	日本ファシリオ (株)	174,900
施設警備保障システム委託料 (浜島公民館)	イセツト (株)	194,400
環境整備業務委託料 (浜島公民館)	川利建設	168,480
デマンド監視業務委託料 (大王公民館)	(財) 中部電気保安協会	45,360
ガスヒートポンプエアコン保守点検業務委託料 (大王公民館)	(株) 波切ヤンマー商会	167,940

・臨時職員賃金 12,318,940 円

施設名	金額（円）
浜島公民館	3,809,900
大王公民館	5,077,040
鵜方公民館	3,432,000

(2) 公民館講座開催事業 2,985,000 円 【生涯学習スポーツ課】

市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として公民館講座（生涯学習講座）を開催した。

報償費 2,985,000 円（全地区公民館講座講師謝礼）

○各地区の講座実施状況

・一般講座

地区名	講座数	受講登録者数（人）	延べ参加者数（人）	報償費（円）
浜島地区	11	187	1,978	550,000
大王地区	12	174	1,208	610,000
志摩地区	9	204	1,592	435,000
阿児地区	17	242	2,864	835,000
磯部地区	12	178	1,469	520,000
計	61	985	9,111	2,950,000

・高齢者学級

地区名	講座名	開催回数（回）	延べ参加者数（人）	報償費（円）
浜島地区	つるかめ大学	6	418	20,000
志摩地区	はまゆう大学	10	254	15,000
磯部地区	くすのき講座	3	214	0
計		19	886	35,000

(次ページにつづく)

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

○収入の状況

公民館講座受講料（1人1講座につき1,000円）

地区名	受講料（円）
浜島地区	187,000
大王地区	174,000
志摩地区	204,000
阿児地区	242,000
磯部地区	178,000
計	985,000

- (3) 鵜方公民館改修事業 1,001,600 円 【生涯学習スポーツ課】
- ・ 建築確認申請等手数料 8,000 円
 - ・ 実施設計業務委託料（松森建築設計事務所） 993,600 円

【点検及び評価】

生涯学習講座は各講座の講師及び受講者の自主的な運営に支えられているが、若年層向けの講座が少ないため今後もより多くの世代・性別の方に参加してもらえる魅力ある講座を企画していきたい。

老朽化している鵜方公民館を改修するための実施設計を行った。

図書館費

- (1) 図書館管理運営費 31,165,206 円 【生涯学習スポーツ課】

○図書館利用状況

	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
貸出者数(人)	35,441	3,896	7,275	460	156	47,228
貸出冊数(冊)	136,363	14,016	24,673	1,535	467	177,054

○自主事業

「読み聞かせ会」「おはなし会」「図書・雑誌リサイクルフェア」等、数多くの自主事業を実施した。

○移動図書館

市内の図書館(室)から居住地が遠く、利用が困難な小学校の図書館等との連携をはかり、市内図書館(室)の図書資料を小学校等に運搬し、通学する児童に貸出した。

的矢小学校、安乗小学校、片田小学校、えがお志摩保育園で実施。

3校1園へ年間合計4,100冊貸出。その他、浜島子育て支援センター(毎月30冊)、子育て支援センターわくわくの森(隔週で20冊)へ貸出。

【点検及び評価】

新たな利用者層の拡大に向け、大人向けの図書館講座を開催した。図書館の資料を利用して、創作する楽しみを持ってもらう企画として、短歌・俳句・川柳を詠む講座を定期的で開催した。

また、図書資料の収集・整理・貸出を行い、利用者サービスの充実を図り、来館者に親しまれる図書館づくりに向けて多くの事業を開催した。

講座や新規事業において、今後は市民向けのPR方法の工夫が必要と感じた。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

歴史民俗資料館

(1) 歴史民俗資料館管理運営費 6,419,623 円 【生涯学習スポーツ課】

○歴史民俗資料館入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	379	762	479	593	460	278	625	749	389	427	453	548	6,142

○企画展開催事業

企 画 名	開催日	入館者(人)
石山浩達展 エイリアン博物館	4月29日～6月 1日	900
御田植祭写真展	6月10日～6月30日	332
阿児町志島・塚穴古墳発掘速報展	7月19日～8月31日	649
里海パネル展	7月19日～8月31日	624
東北パネル展(共催：県立図書館)	7月26日～8月31日	528
戦争の中の子どもたち展 (主催：三重県歴史教育者協議会)	8月 6日～8月10日	126
志摩市10周年記念企画展 志摩の海女さん	10月24日～12月27日	1361
伊雑宮のご遷宮とそれを支える人々	12月13日～12月27日	638
くらしの中のひな人形展	2月14日～3月15日	723

【点検及び評価】

今年度は志摩市10周年記念企画展の「志摩の海女さん」をはじめ多くの企画展を開催し、多数の来館者があった。また伊雑宮の遷宮にスポットをあてた歴史講座「伊雑宮と式年遷宮」を開催し、遷宮の歴史と地域の人々との関係について学ぶことができた。

今後も図書館と資料館の併設館としての利点を活かし、地域資料の収集・調査研究を更に進め、歴史民俗資料館の充実を図っていきたい。

施策の成果及び執行実績

生涯スポーツ

1 スポーツ推進事業費

- (1) スポーツ振興補助金 4,385,000 円
- ・ 志摩市体育協会補助金 2,570,000円
 - ・ 志摩市スポーツ少年団補助金 1,620,000円
 - ・ スポーツ文化全国大会等出場激励金 195,000円（個人 31件 ・ 団体 2件）

【点検及び評価】

志摩市体育協会については、旧町単位による支部制を廃止し、各競技別による専門部を中心とした組織体制に移行したことにより地域間の交流を深めるとともに、専門性を活かした活動が活発となった。

また、全国大会等出場激励金については、昨年度より件数が増加しており、今後も当事業が活躍の一助となるよう役割を果たしていきたい。

- (2) 美し国三重市町対抗駅伝事業 700,000 円

契 約 名 美し国三重市町対抗駅伝業務委託
 契 約 相 手 方 美し国三重市町対抗駅伝 志摩市組織委員会
 契 約 金 額 700,000円

【点検及び評価】

平成27年2月15日開催の第8回美し国三重市町対抗駅伝に出場する志摩市代表チームの選手選考や大会に向けての選手への指導等を行った結果、総合順位で13位、市部門で11位と昨年度より順位を落とす結果となったが、今後も引き続き上位入賞を目指し競技力の向上支援と選手の強化を図っていききたい。

- (3) スポーツ教室開催事業 1,000,000 円

契 約 名 岡山シーガルズバレーボール教室開催業務委託
 契 約 相 手 方 「Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室」開催実行委員会
 契 約 金 額 1,000,000円

【点検及び評価】

志摩市出身の山口舞選手が所属する「岡山シーガルズ」を招いて、平成26年8月30日に阿児アリーナにて主に小・中学生（参加者：232人）を対象としたバレーボール教室を開催した。

中学生がシーガルズの選手に交じり指導練習試合を行い、実践の中で指導を受けることにより技術力はもとよりバレーボールに取組む意識の向上も同時に図られた。

また、その他に県の事業ではあるが、昨年度に引き続き、「みえのスポーツ地域づくり推進事業（トップチーム地域活性化活用事業）」を活用し、社会人ラグビーチームの「Honda H E A T」の選手を招き、小学生から高校生を対象にラグビー教室及び交流試合等を行い、ラグビーへの関心を深めるとともに競技の活性化に繋がった。

今後も予算の許す範囲内であらゆる事業を活用し、他のスポーツについても技術力向上に努めていきたい。

2 体育施設費

- (1) 浜島ふるさと公園施設費 2,225,160 円
- 指 定 管 理 者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ
 - 指 定 管 理 料 2,196,000円／年
 - 指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）
 - 利用状況 使用料：1,030,500円、団体数：338件、使用人数：6,412人

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

- (2) 志摩総合スポーツ公園施設費 1,512,400 円
 指定管理者 特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ
 指定管理料 1,480,000円／年
 指定管理期間 平成25年度～平成27年度（3か年）
 利用状況 使用料：285,250円、団体数：578件、使用人数：7,710人
- (3) 長沢野球場施設費 3,346,133 円
 利用状況 使用料：440,500円、団体数：127件、使用人数：5,574人
- (4) 阿児テニスコート施設費 1,237,612 円
 利用状況
 ・テニスコート 使用料：75,000円、団体数：28件、使用人数：460人
 ・多目的広場 使用料：632,000円、団体数：224件、使用人数：7,321人
- (5) 賢島スポーツガーデン施設費 2,499,720 円
 指定管理者 株式会社 代々木高校
 指定管理料 2,085,000円／年
 指定管理期間 平成24年度～平成26年度（3か年）
 利用状況 使用料：3,268,600円、団体数：1,049件、使用人数：8,400人
 ○ 主な施設修繕
 工事名 賢島スポーツガーデン天井エアコン取替工事
 契約金額 318,600円
- (6) 長沢運動公園グラウンド管理費 279,701 円
 利用状況 使用料：33,500円、団体数：19件、使用人数：1,345人
- (7) 磯部ふれあい公園管理費 23,769,202 円
 指定管理者 特定非営利活動法人 いそべスポーツクラブ
 指定管理料 22,399,000円／年
 指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）
 利用状況
 ・ふれあい公園 使用料：1,374,600円、団体数：1,544件、使用人数：27,187人
 ・磯部プール 使用料：215,300円、団体数：7件、使用人数：2,506人
 ○ 主な施設修繕
 工事名 磯部ふれあい公園防球ネット補修工事
 契約金額 718,200円
 工事名 磯部ふれあい公園浄化槽制御盤キャビネット取替工事
 契約金額 313,200円
- (8) 迫塩社会体育館施設費 1,060,595 円
 利用状況 使用料：140,500円、団体数：279件、使用人数：4,498人

施策の成果及び執行実績

(9) 大王柔剣道場管理運営費 39,808 円

利用状況 使団体数：277件、使用人数：1,762人

(10) 学校体育施設管理費 1,772,223 円

利用状況 (単位：円、件、人)

区分	学校夜間照明			学校体育館		
	使用料	団体数	使用人数	使用料	団体数	使用人数
浜島地区	-	-	-	84,500	325	4,370
大王地区	82,000	41	928	292,750	755	6,945
志摩地区	133,500	72	1,730	222,250	651	7,828
阿児地区	99,500	1,438	3,989	945,250	2,382	31,864
磯部地区	222,000	122	3,304	491,000	930	10,578
合計	537,000	1,673	9,951	2,035,750	5,043	61,585

【点検及び評価】

各種体育施設の利用状況については、昨年度と比較し平均的に横ばい傾向であるが、平成26度から浜島ふるさと公園について指定管理者として特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブが管理・運営を行っている。特に管理者制度を導入している施設の利用状況については、安定的な施設運営となっている。

各スポーツ施設は、ほとんどの施設が建築後20年以上を経過し老朽化が著しいため、改修工事が必要となっているが、施設数が多く多額の改修費用が必要となるため、今後は利用状況に応じた施設の統廃合や指定管理者制度の導入等、弾力的な運用を検討する必要がある。また国体に向けての施設改修にも今後計画的に取り組む必要がある。

3 海洋センター施設費

(1) 浜島海洋センター施設費 32,304,067 円

指定管理者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ

指定管理料 26,858,000円／年

指定管理期間 平成26年度～平成28年度（3か年）

利用状況

・アリーナ等 使用料：495,300円、団体数：307件、使用人数：7,333人

・プール 使用料：560,600円、団体数：309件、使用人数：11,620人

○ 主な施設修繕

工 事 名 浜島B＆G海洋センター給湯配管取替工事

契 約 金 額 530,777円

○ 施設改修工事

工 事 名 浜島B＆G海洋センタープール機械室屋根改修工事

契 約 金 額 2,754,000円

○ 備品購入

事 業 名 浜島B＆G海洋センター券売機購入

契 約 金 額 581,040円

(2) 志摩海洋センター施設費 18,910,000 円

指定管理者 特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ

指定管理料 18,775,000円／年

(次ページにつづく)

施策の成果及び執行実績

指定管理期間	平成25年度～平成27年度（3か年）
利用状況	
・アリーナ等	使用料：717,750円、団体数：675件、使用人数：16,238人
・プール	使用料：150,650円、団体数：50件、使用人数：3,571人

【点検及び評価】

各海洋センターの利用状況については、平均的にほぼ横ばい傾向となっている。また、浜島B＆G海洋センターについては、平成26年度から指定管理者制度を導入し、特定非営利活動法人浜島スポーツクラブによる施設の運営管理がなされ、より一層地域に密着した各種スポーツの取組み（教室・イベント等）が展開された。

海洋センターを含め各社会体育施設についても経年劣化や塩害等により老朽化が著しく、今後は計画的に利用状況を踏まえ施設の統廃合を検討するとともに、利用者にも配慮しながら施設の改修を進めていく必要がある。また、B＆G財団などの外部からの補助金の獲得についても情報収集に努めていく必要がある。

食育課

施策の成果及び執行実績

1 学校給食管理費

- (1) 学校給食一般経費 221,837 円 【食育課】
・ 公用車 ガソリン代・車検代 他

【点検及び評価】

学校給食一般事務に関する経費公用車車検代、ガソリン代他として使用。
必要経費のため、削減が厳しい。

2 学校給食センター費

- (1) 学校給食センター管理運営費 323,105,263 円 【食育課】

○学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 15,270,435 円

※職員の状況 (人)

・ センターにおける日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費

所長	事務職員	栄養士	栄養補助職員	調理員	
				(正)	(臨)
1	2	2	2	18	12

79,967,788 円

備品修繕 57,200 円

スライサー刃研ぎ 軽四ダンプ修理 他

施設修繕 1,348,920 円

インターホン表示工事、壁面コンテナ衝突対策・ショックストッパー設置 他

手数料 755,820 円

受水槽清掃料 97,200 円

学校給食用食品検査料 90,180 円

検便手数料 549,940 円

簡易専用水道法定検査手数料 18,500 円

委託料 77,805,848 円

衛生害虫防除消毒作業委託料 142,560 円

栄養計算システム保守業務委託料 81,000 円

給食配送・回収等業務委託料 72,883,979 円

電気工作物保安管理業務委託料 787,968 円

消防設備保守点検等委託料 265,300 円

エレベーター保守点検委託料 738,720 円

施設保安業務委託料 272,160 円

清掃業務委託料 162,000 円

排水処理施設保守点検業務委託料 1,021,248 円

空調機器及び換気扇保守点検委託料 367,200 円

排水処理施設汚泥収集運搬業務委託料 540,000 円

排水処理施設汚泥処分業務委託料 543,713 円

(次ページにつづく)

食育課

施策の成果及び執行実績

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	小学校	中学校	給食センター	合計
施設数	17校	7校	1施設	25
食数	2,505食	1,518食	35食	4,058食

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	194日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パン（株）へ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
小学校（低学年）	3,900円	250円	
小学校（中学年）	4,100円	260円	
小学校（高学年）	4,300円	270円	小学校教職員
中学校	4,600円	280円	中学校教職員、ALT、栄養士、給食センター職員
試食		300円	ふるさと給食、ゲストティーチャー等

④学校給食センターにおける給食費収支状況（平成26年度現年度分）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
191,743,800円	191,562,074円	191,893,183円	181,726円

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成25年度までの滞納額	7,200円	828,320円	1,078,806円	1,914,326円
平成26年度中の収納額	0円	117,907円	81,700円	199,607円
差引滞納額	7,200円	710,413円	997,106円	1,714,719円

○学校給食センター運営委員会の開催

第1回開催日：平成26年7月1日 第2回開催日：平成27年2月23日

委員：小学校長代表1人 中学校長代表1人 栄養教諭2人

P T A代表10人 養護教諭代表2人 計16人

（次ページにつづく）

施策の成果及び執行実績

○学校給食センター従事職員への衛生管理等に関する研修会の実施

開催日：平成26年8月29日 場所：志摩市学校給食センター

テーマ：学校給食における手洗いと洗浄・殺菌

参加者：35人（調理員、事務職員、栄養教諭、学校栄養補助職員）

○食物アレルギー対応状況

除去食・代替食対応 71名

○地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を実施

6月 ひじき 11月 あらめ、みかん、船越みそ 1月 しっぽく、ひじき

【点検及び評価】

平成25年9月から志摩市学校給食センター1施設で給食を提供している。

平成26年度は、市内小中学校の生徒に1日約4,000食の提供を実施した。昨年度に引き続き給食の配送業務・回収業務については、志摩市東部を前島運送有限会社和具営業所、志摩市西部をミナミ運輸有限会社に委託した。主食は1週間の内米飯が4日、パンが1日を基本として丸仙パン株式会社に委託した。

給食費の未納については、学校と協力して回収に努めた。電話、未納通知等連絡も行った。現年度の未納が極力発生しないよう、今後も学校と連携して取り組んでいきたい。

食育の一環として地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を各学期に1回実施した。地元でとれる産物や旬の食材について興味理解を深めるとともに、食育の一助として役立てることができた。

なお、食物アレルギー対応について、平成26年度中は大きな事故につながる事案は発生しなかったが、今後も家庭、学校、学校給食センターが連携を密にして事故防止に努めなければならないとの思いを深めている。